



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2009年7月 No.326
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)

センテニアルクラブ会長 : 『Onward Centennial, again』
 東京セントラルクラブ会長 : 『一つとなって YMCAへ』
 国際会長 : 『一つとなる力』
 アジア会長 : 『夢みるアジア、愛するアジア』
 西日本区理事 : 『すべてのいのちを大切に』
 中西部部長 : 『行動、達成そして感激』

クラブ役員 Officers

会 長 : 山中 秀男
 副 会 長 : 新保 正秋
 書 記 : 石津 雅人
 会 計 : 中村 幸枝
 ネット会長 : 山中 ちあき
 Y 連絡職員 : 鍛治田 千文

Biblical Message of July

何事にも時があり
 天の下の出来事にはすべて定められたときがある

(コヘレトの言葉3章1節)

July Club Meeting

『Kick-off/EMC-C』

7 月 第 1 例 会

日時 : 2009年7月15日(水) 18:30~20:30

場所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 谷川 寛 君

1. 開会点鐘 大村 肇 会長
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 大村 肇 会長
4. 聖句朗読 鍛治田 千文 君
5. 今月の強調活動 谷川 寛 君
6. 晩 餐 一 同
7. 会長交代式 司式 / 金田 恒 中西部長
8. 会長挨拶・方針 山中秀男会長
9. 会計(決算・予算) 中村 幸枝君
藤原 正巳君
10. 卓話「ジュエリー(宝飾品)の物造りの現場」
(有)クィーンズジュエリー・岡本剛介 君
11. お誕生祝い・ニコニコ献金 一 同
12. 閉会点鐘 山中 秀男 会長

7 月 第 2 例 会

日時 : 2009年7月22日(水) 18:30~20:00

場所 : 大阪YMCA土佐堀会館4F

7月お誕生日 : 坂本ネット(21日)

例会担当 : 1班 : 大村、新保、田中、畠中、山田、山中君

ONWARD CENTENNIAL, AGAIN

山中 秀男

1982年6月16日、大坂クラブをスポンサーにして産声を挙げ、設立総会を中央電気倶楽部で開催、お披露目のチャーターナイトを9月25日、中の島センタービルでし、センテニアルクラブが活動を始めた。名誉ある初代会長に選んで頂き、初仕事スローガン造りに、「ONWARD CENTENNIAL」を掲げた。賛美歌「ONWARD CHRISTIAN SOLDIER MARCHING ON」をヒントにしている。ニューヨーク滞在中家族で毎週、バプチスト教会に通い、最も良く唄われたのがこの曲でその都度勇気付けられた。初代CENTENNIAL CLUBは赤毛のアンで有名なカナダ プリンスエドワード島 シャロット タウンにあった、クラブの内容、方針を聞いてはいないがアンのイメージとオーバーラップする。ハンディーに耐え(BEAR UP)、常に明るく困難に立ち向かい(CHEER UP)さわやかで強いアンのキャラクターを構築した、これをONWARDに込め、ほぼ30年経った今、再度前向いて進もうとAGAINを付した。この一年宜しくお願ひします。

【クラブ統計 Statistics】

2009年6月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	14名	6名	6月 0g	6月: 18,100円
例会出席 14名	メネット	8名	2名	現 金 0円	(オークション
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	手 累計: 2,062g	: 24,300円)
0名	ゲ ス ト	3名	0名	金 累計: 1,000円	累計: 226,550円
出席率 77.7%	合 計	25名	8名		

6月第2例会報告

日時：2009年6月24日（水）18:30～20:00
場所：大阪YMCA会館4階

出席者：大村、鍛治田、中村、藤原、松浦、山中の各メン
と山中、山村の各メネット 8人

協議事項/今後の予定

- (1) 8月の表現コミュニケーション学科交流会
8/26（水）10:00～メネット、メンの協力を募る。
- (2) 納涼合同例会 8/19（水）なかのしまクラブと合同。
会費4,000円、飲み物は各自払い。
- (3) 決算、予算 今期決算は落語会時の物品販売、オークションなど15万円余りの収益があり、次期繰越額が123,794円となり、累計繰越額は463,282円になった。
次期予算については、新しく新会員獲得のため、会員候補ゲスト例会費（6名×2回）を新設。また卓話講師の謝礼金を10万円に増額。その他修正し、7月第1例会ではかる。
- (4) Eメールマガジンをいよいよ7月初めから開始。
- (5) 最近ブリテンの作成が遅れているが、原稿締め切りを第2例会までとする。
- (6) 中西部行事予定
7月18日（土）第1回評議会（大阪YMCA）
9月26日（土）中西部会合同メネット会
（高槻現代劇場）
10月17日（土）EMCシンポジウム
（大阪YMCA）
11月21日（土）第2回評議会
11月23日（月・祝）チャリティ・ラン
（大阪城公園）
2010年
1月9日（土）合同新年会（大阪南YMCA）
1月16日、4月17日、6月26日（土）評議会
YYフォーラム（日時未定）

（中村 茂高）



30代後半の私は「生きにくい、生きがたい」といつも思っていました。毎朝、肥後橋駅の階段を一段一段登りながら、ため息をついていました。家族にも恵まれ、仕事にも恵まれ、でも何か心にどっしり重いものがありました。その時にこの聖句に出会ったのです。自分で切り開いてきたように思っていた人生が神様に定められた人生だと知った時はどんなにほっとしたでしょう。なんて自分は奢っていたのでしょうか。これから何が起きるかわからない。でもそれも神様の計画にあること。何があっても、神様が見ていてくださる、それはどれだけ私を勇気づけてくれ、それは今もそうです。

まだクリスチャンでなかった私でしたが、この聖句との出会いは信仰へのきっかけのひとつとなりました。

聖句選 コメント：鍛治田 千文

6月第1例会報告

日時：2009年6月17日（水）18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

6月第1例会は大村会長の任期最後の点鐘で始まりました。今日は新型インフルエンザも一段落し、先月のようにマスク姿の方はいませんでした。

先ずゲスト紹介で、本日の講師の大田壮一郎先生（谷川メンの紹介）、川村氏（大村会長の絵の先生）、岡本氏（山中メンがODA活動で御一緒だった）の3名が紹介されました。

山村利子メネットによる聖句朗読に続き、今月の強調活動として大村会長が1年間を振り返っている感想を述べられました。晚餐の後、本日の卓話に入りました。講師は大田壮一郎先生（甲南大、立命館大講師）で、「天下人とカミ・ホトケ」と題してお話しされました。

天下人として、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人を挙げ、それぞれの宗教観、世界観を比較しながら興味深くお話しされました。我々日本人にとって、この3人は歴史上の人物である以上に、強烈なインパクトを与え続けているのですね。

続いて山中次期会長の発案によるEメールマガジン（親睦を主目的とする情報誌）について、藤原メンから説明がありました。又何か新しいことが始まる期待を抱きながら例会は終了しました。

（三浦 直之）

YMCAニュース

早天祈祷会 日時 7月17日（金）7:30～8:30

証し 田宮芳光氏（大阪YMCA職員）

人間関係トレーニング 日時 8月1日（土）・2日（日）13:30～16:30

よりよい関係作りのために・・・自尊感情や仲間づくりにより有効な人間関係トレーニングのワークショップを通して、一人ひとりのエンパワメントやグループでの合意形成など学びます。【1日でも可。】

屋外での活動が多くなる本格的な夏を迎える7月18日を、大阪YMCA「安全の日」と定めています。「生命（いのち）」の大切さと、自分自身の「安全」と他者の「安全」を考える機会として「安全キャンペーン」を実施します。

YMCAの学校現場では生徒達が「安全」で「安心」できる環境で学校生活をすごせるため、再度物理的な「安全」、精神的な「安全」、時間的な「安全」を再確認し、整えていきます。

Tel.06 (6441)1123 Fax...06(6443)7544 (鍛治田 千文)

「第12回西日本区大会」報告

大村 肇

「火の国」熊本で「第12回西日本区大会」が熊本市民会館で6月6、7日に開催されました。センテナアルクラブから、山田さん、松浦夫妻、山村さん、石津さん、坂本夫妻、と大村の8名が参加しました。大会は、西日本区初めての女性理事佐藤さんの点鐘に始まり、来賓の祝辞や代議員報告、理事、部長報告と第一日のプログラムが順調に進みました。懇親会は、日航熊本ホテルで参加者800名が会場を埋め尽くし、鹿本農業高等学校の生徒さんがオープニングとして優雅な「山鹿灯籠踊り」を披露。静かに開幕した懇親会も徐々に九州の皆さんの熱気に大いに盛り上がりしました。

翌日は、聖日礼拝に始まり、主任報告、表彰とプログラムが進み、理事役員引継式。神戸ポートクラブの鈴木さんに無事引き継がれました。

今年度の最優秀クラブは、「京都ウイング」、優秀クラブは、「名古屋東海」、「京都グローバル」。最優秀プリテン賞は、「京都トウビー」、優秀プリテン賞は、「京都」、「大阪なかのしま」が選ばれました。センテナアルは、ノンドロップ賞だけでした。来年度は、頑張る多くの賞を獲得したいものです。

今回の大会を振り返って、熊本のクラブの人たちの熱い思いがこの大会を成功させ、参加した人たちに新たなエネルギーをもたらしたと思います。

来年度に向けて、センテナアルも頑張っていきたいと思います。ご参加いただいたクラブの皆様大変お疲れ様でした。



優雅な山鹿灯籠踊り



理事引継式

Y M C Aの源流 = 熊本バンドを訪れる

松浦 孝次

ワイズ西日本区大会が6月6日～7日熊本で開催され、たっぷりワイズ情緒に浸りましたが、熊本は「Y M C Aの源流」ともいべき地。2日目の朝、宿泊したホテルからタクシーを駆って、妻とともに熊本バンド結成の場所を訪れました。=写真。市内にある小高い花岡山の頂上に、それはありました「奉教之碑」。桜の古木に囲まれた碑の前には、ファイアが焚かれる場所があり、いまでも毎年 早天祈祷会がもたれているそうです。

1871年(明治4年)設立の熊本洋学校に招かれた教師、L・L・ジェーンズ氏(アメリカ陸軍大尉)の信仰と情熱が青年たちを動かし、1876年(明治9年)1月30日、35名の洋学校生徒が花岡山に登り、キリスト教を信仰するという「奉教趣意書」に署名。その後賛同した若者たちをも含めて「熊本バンド」と呼ばれるようになりました。さらに、京都の同志社に移って、信仰を固めたのでした。

東京Y M C A(1880年)を小崎弘道、大阪Y M C A(1882年)を宮川経輝、神戸Y M C A(1886年)を原田助の人々(熊本バンドのメンバー)が創設したもので、熊本バンドは、まさにY M C Aの源流であります。

思えば、明治初期(キリシタン禁止令が明治6年に廃止されたばかり)そして保守的風土の熊本で、日本のキリスト教の揺籃期が存在したことは、注目すべきことですね。



熊本バンド結成の場「奉教之碑」を前に松浦夫妻

Club Activities (June, 2009)

On June 17, a total of 25 members, Y's menettes and guests were present to participate in the last meeting of another wonderful year in Y's Dom.

Outgoing President, Hajime Ohmura, expressed his deepest appreciation to all members for their help, especially for their active participation in the club's activities, and for their financial support.

Members gave a big hand to President Ohmura for his excellent leadership to achieve many new undertakings such as the Rakugo-kai gathering and support activities to the students of the Special Communication Course of Osaka YMCA High School.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. Soichiro Ota, promising scholar of Japanese history and lecturer at the Ritsumeikan University.

He told us Japanese outlook on religion from the view point of such distinguished war lords in the mediaeval times as Oda Nobunaga, Toyotomi Hideyoshi and Tokugawa Ieyasu. What he told us was so unique and interesting, we really learnt a lot. Yen 18,100 was collected from the attendees for our club's Niko-Niko (smiling) fund.

☺ ニコニコ・メッセージ ☺
【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

天下人の話のお話大変興味深く聴かせていただきました。楽しい例会でした。大村会長、お疲れ様でした。土佐堀Y M C Aの運営委員としてこれからも宜しくお願いします。(石津 雅人)

一年間大変お世話になり無事職務を終える事が出来ました。(大村 肇)

大河ドラマを楽しんで観ていますので今日のお話はおもしろかったです。(鍛冶田 千文)

久しぶりに学生に戻った様な気持ちで歴史の話を楽ししく聴かせて頂きました。(坂本 千春)

日本の歴史、天下人の話たいへん興味深く聞かせてもらいました。(坂本 哲朗)

毎日、忙しくしております。(新保 正秋)

今回も楽しい例会に出席できて感謝です。(田中穰二)

大田先生のお話、興味深かったです。天下人三人の本を読んでも想像が広がりより楽しめる様になったと思います。ありがとうございました。(隅田 恵子)

大村会長一年間のお働きを感謝します。おかげで6月例会は25名の多くの出席者がありました。紹介させてもらったスピーカーも大変興味のあるテーマを取り挙げてくれました。(谷川 寛)

興味がいっぱいありながら難しそうな日本の歴史。今日のスピーカー大田荘一郎氏のお話を通じて三人の天下人の逸話を通して身近なお話を楽しく拝聴、良かったです。もっと沢山知りたいです。(谷川有美子)

この頃とても「和風」が好きです。先生のお話は大学生になった気分です。(中村 幸枝)

歴史の裏にうずまく権力者の欲望は尽きないものですね。大村会長、お疲れさまでした。(中村 茂高)

天下人の話歴史のひとつまとして楽しく面白く聴かせて頂きました。？の質問も勉強になりました(あまり歴史に興味になかったの)(福永 滋子)

珍しい日本の宗教について伺い色々考えさせられました。年齢だけを重ねているだけで、もっと学ばねばならないと反省しました。(福永 嘉彦)

5月の例会は欠席いたしましたので2ヶ月ぶりの皆様との再会になりました。特に本夜は大勢のゲストが出席され大変楽しい例会でした。大田先生の歴史の話、知っている様で知らない日本の神仏と日本人の宗教観の根源を改めて学びました。山中次期会長のお話は？と希望に溢れ、且つ現実的で来年度以降のセンテニアルクラブに明るい未来を感じました。(藤原 正巳)



大阪センテニアルクラブホームページ

<http://m-ishizu.com/ys/>

「天下人とカミ・ホトケ」のお話、大変興味深く聴かせて頂きました。楽しい例会でした。(松浦和子)

大田先生のスピーチ非常に面白く聞かせていただいた。学術あるいは研究されている方からの解説はフィクションでなく歴史的事実の解明と解釈であって大変勉強になりました。(松浦 孝次)

大村会長 1年間御苦労様でした。色々な経験ができて楽しい1年間でした。太田先生の宗教のお話し大変面白かったです。(三浦 直之)

西日本区大会に参加し熊本ジェーンズのみなさんはじめ熊本のみなさんのすばらしい演出で楽しい大会でした。大会が終わった後、東シナ海へ沈む夕日、日本のキリスト教の原点の天草へ行ってきました。楽しい旅に感謝。(山村 利子)



6月の例会風景

後記

脳の活性につながるテレビのクイズ番組、本、ゲームが話題になっている昨今、5月7日のNHK特集で放映された「脳の軌跡～ジルボルト・テイラー女史のメッセージ」をご覧になった方もいるかと思います。

著書は全米で50万部が売れ、日本でもこの2月に発売されかなりの反響を呼んでいるようです。

なぜこれまでに話題になったかという点、本人が脳科学者で、脳卒中を発症後、8年のリハビリで完全に復活したからです。左脳にかなりのダメージを受けながら、脳科学者らしく、自分がダメージを受けた部位を客観的に分析、右脳の機能を生かしながら、左脳の修復をはかったというもので、本人は、世界中で脳科学者自身がこのような機会に恵まれたことは「天からの贈り物」と語っています。

さらに驚くべきことは、右脳の機能が拡充し、芸術面にも才能を発揮したことです。人間も自然の一部であるということ、また充足感を実感するようになったとのこと。

左脳社会とよばれる現代社会、年間146万人もの脳卒中患者が出るなか、右脳への誘いともとれる彼女の話は、現代社会の左脳社会に対する警告とも受け取れるものでした。

ビデオを録画しているので、ご覧になりたい方はいつでもお貸しします。

(中村 茂高)